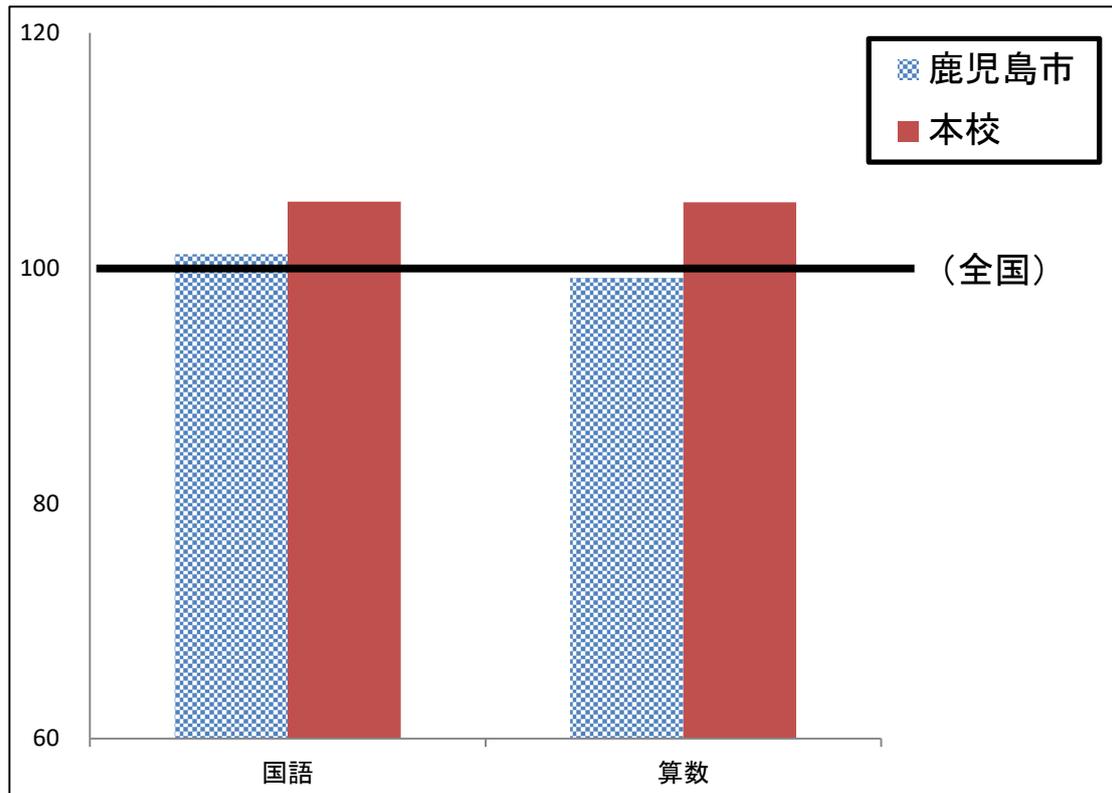


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

松原小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

与えられた情報(資料)を整理し、原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題が見られました。原因と結果などの言葉に着目して、資料から得られる情報を正確に把握し、自分の考えを整理してまとめることができるように指導していきます。授業の中では、情報と情報との関係を捉えて整理する時間と、図表やグラフを用いるなどして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する時間を分けて設定し、考え方や書き表し方を段階的に学べるようにしていきます。

〈算数〉

辺や角の大きさ等の情報から図形を特定することに課題が見られました。辺の長さや角の大きさだけではなく、垂直や平行等の辺の関係性にも着目しながら、より多角的に図形の性質を捉えることができるように指導していきます。授業の中では、テープを折ったり切ったりする操作を通して図形をつくり、それらの操作を基に、図形の意味や性質について考えることができるようにしていきます。

〈全体的に〉

国語・算数ともに、学習の成果が認められる結果です。

児童質問紙の結果から見ると、家庭でも学習する習慣が確立している児童が増えてきており、学習の見直しをしたり発展的な学習をしたりしようとする意識が高いことが分かりました。また、友達と意見を交流しながら考える活動にも好意的な児童が多く、対話的な学習のよさを理解できていることも分かりました。課題として、自分の考えがよりよく伝わるように書く文章や話し方を工夫しようとする気持ちが低いことが分かりました。今後は、自分の考えを伝えるための文章構成の仕方や効果的な話し方の工夫なども身に付けられるように授業改善を行ってまいります。また、基礎・基本の定着と思考力・表現力の育成を図る朝のチャレンジタイムの取組を改善充実させて「分かった」「できた」という達成感を味わわせ、自己肯定感を高められるように努めてまいります。併せて、長時間に及ぶゲーム、YouTube等の利用や無届の遅刻・欠席など、基本的な生活習慣の確立も学力向上を図る上で、大きな課題となっていることから、引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」、「ゲーム、スマホ等の適正利用」等、家庭と連携して改善できるようにしてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。